

道徳科学習指導案

指導者 T 1 重森 恵美子
T 2 毛利 佐由理

- 1 日時 平成30年12月14日(金) 第2校時
- 2 学年 第1学年(16名)
- 3 主題名 みんなともだち B9 友情, 信頼
- 4 ねらい 友達を悲しませて, 自分たちだけで遊んでも本当に楽しくないこと, みんなで仲よく遊んだほうが楽しいことに気づき, 友達と仲よくし助け合おうとする心情を育てる。
- 5 教材名 「およげない りすさん」
(出典:「わたしたちの道徳 小学校1, 2年」 文部科学省)

6 主題設定の理由

〔主題観〕

本主題は, 第1学年及び第2学年の内容項目〔B友情, 信頼〕「友達と仲よくし, 助け合うこと。」に基づくものである。これは, 第3学年及び第4学年では, 「友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。」, 第5学年及び第6学年では, 「友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。」に繋がっていく。

児童にとって友達とは, 家族以外で特にかかわりを深くもつ存在であり, 遊び仲間などとして影響し合いながら生活をしている。また, 世代が同じもの同士として, 似た体験や共通の興味や関心を有することから, 互いの考え方などを交え, 豊かに生きるための大切な存在として, 成長とともに, その影響力を拡大させていく。この時期の児童は, 幼児期の自己中心性がまだ残り, 友だちの立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しいことも多い。しかし, 学校生活で友達と関わることを通して, 友達と助け合い, 認め合い, 理解し合って信頼関係を築くことができるようになってくる。友達を大事にするためには, 相手の立場や気持ちを思いやることが大切だということに気付かせていきたいと考え, 本単元を設定した。

〔児童観〕

(略)

〔指導観〕

本教材は, かめさんたちが池の中の島へ行って遊ぶ約束をしているところに, りすさんが来て「ぼくもいっしょにつれて行ってね。」と言うが, 「およげないからだめ。」と断って島に行ってしまうお話である。島で遊んでいるかめさんたちは, ちっとも楽しくない。次の日, かめさんは, りすさんに謝り, りすさんを背中に乗せて島に行く。友達を悲しませて, 自分たちだけで遊んでも本当に楽しくないこと, みんなで仲よく遊んだほうが楽しいことに気づき, 友達と仲よくし助け合おうとする大切さについて考えることのできる教材である。

指導に当たっては, 「かめさんたち」の変容を中心に学習したことを基に, 「どのように声をかけようとするのか。」の役割演技をすることで, 児童自身の生活につながるよう, 次の5点に留意する。

- ① 導入では, 問題場面を演じて見せることで, 問題点に気付かせ, ねらいとする価値への方向付けを行うとともに, 「友達と仲よくするためには, どんなことが大切だろう。」という課題意識をもたせる。
- ② 展開前段では, 島で遊んでいても少しも楽しくないかめさんたちの気持ちを考え, りすさんのことを気にかけていることに気付かせる。
- ③ 中心発問では, かめさんの背中に乗ったりりすさんをかこんで島に向かっているみんなは, どんな顔をしているかを考えることで, 友達が嬉しいと自分も嬉しくなることに気付かせる。それから,

自分の考えを書かせ、友達の考えと自分の考えと比べるという視点で、ペアトークを行う。

(研究主題とのかかわり“人とかかわり”)

- ④ 展開後段では、導入と同じ場面の役割演技をすることで、実際にどんな言葉をかけるのかを考えさせ、日常生活場面につながるようにする。(研究主題とのかかわり“自分とかかわり”)
- ⑤ 終末では、振り返りの視点を示すことで、本時の学習を振り返り、自分の生活に生かすことができるようにする。

7 準備物 場面絵、中心発問やキーワードのカード、ワークシート、感情カード

8 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○：主な発問，◎：中心発問)	指導形態		○指導上の留意点 ☆評価の観点
			T 1	T 2	
導入	1 遊びを断る場面の役割演技から、課題意識をもつ。	○ こんな場面を見たとき、あなたは どう 思いますか。 友達と遊ぶ約束をしていたら、他の友達からも、「遊ぼう。」と誘われました。 「一緒に遊ぼう。」 「ほかの子と約束しているから、一緒に遊べない。」 「・・・。」 ・ かわいそう。 ・ ひどい。 ・ いけない。	発問 役割演技	板書 役割演技	○ 指導者が役割演技を行い、問題点に気付かせ、課題意識をもたせる。
友達と仲よくするためには、どんなことが大切だろう。					
展開	2 教材「およげない りすさん」の範読を聞き、考え、話し合う。	○ りすさんを断って、島に泳いでいくかめさんたちはどんな顔をしているでしょう。 ・ 笑顔。早く島に行って、遊びたいから。 ・ にこにこしている。島にある遊具で遊ぶのが楽しみだから。 ○ 楽しいはずの島に来ていても、少しも楽しくないのはなぜでしょう。	範読 発問	範読 板書	○ 全文を範読後、場面ごとにもう一度範読し、発問をする。 ○ 断られたりすさんの悲しい表情と対比させる。 ○ りすさんの気持ちに気付かず、楽しい気持ちでいることを捉えさせる。 ○ 「泳げないから仕方ないのではないか。」と揺さぶる。

展 開		<ul style="list-style-type: none"> ・ りすさんに、悪いことをしてしまったから。 ・ りすさんがいないと、なんだか楽しくないから。 ・ りすさんが、何をしているのか気になっているから。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ りすさんの気持ちを考えず、仲よくできなかった後ろめたさから、少しも楽しくないことに気付かせる。
		<p>◎ かめさんの背中に乗ったりりすさんをかこんで、島に向かって いるみんなは、どんな顔をして いるでしょう。</p> <p>ここにこした顔 笑顔 (りす)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間に入れてくれて嬉しいから。 ・ 一緒に遊ぶのが楽しみだから。 (かめたち) ・ りすさんと一緒に島に行くことができ嬉しいから。 ・ りすさんが喜んでいるから。 ・ 島に行って、一緒に遊ぶのが楽しみだから。 	発問 机間指導	机間指導 板書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳ノートに書かせた後、友達の考えと自分の考えを比べるという視点で、ペアで交流させる。(人とのかかわり) ○ 仲よく助け合うことのよさを感じているどちらの立場にも自我関与し、価値の理解を深めさせる。 ○ 最初に島に向かったときと、りすさんと一緒に島に向かったときの楽しさを比較し、違いに気付かせる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ、りすさんも一緒の方が楽しいのでしょうか。【補助発問】 ・ みんな一緒だから。 ・ 悲しい思いをする人がいなくてりすさんも笑っているから。 ・ りすさんがここにこしてくれ ると、自分たちもここにこになるから。 ・ 友達を助けることができ、嬉しいから。 <p>○ 友達と仲よくするためには、 どんなことが大切でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで仲よく遊ぶ。 ・ 友達の気持ちを考える。 	発問 机間指導	机間指導 板書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の気持ちになって考え、仲よく助け合うことのよさを感じ取らせる。 ○ 本時の課題について、自分の生活を振り返りながら、考えさせる。

<p>展開</p>	<p>3 自分の生活を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達を助ける。 ・ 仲間外れをしない。 <p>○ 友達と遊ぶ約束をしていたら、他の友達からも、「遊ぼう。」と誘われました。あなたはどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いいよ、一緒に遊ぼう。 ・ みんなでやると楽しいから、一緒に遊ぼう。 ・ 一緒に仲よく遊ぼうよ。 	<p>発問 役割演技</p>	<p>机間指導 役割演技 板書</p>	<p>○ 導入で提示した問題場面に戻り、どうしたら友達と仲よくできるかを考えさせる。</p> <p>○ ペアで役割演技をさせ、どんな言葉をどのようにかけるかを考え、生活に結びつくようにする。 (自分とのかかわり)</p>
<p>終末</p>	<p>4 振り返りをする。</p>	<p>○ 「友達と仲よくするために、どんなことが大切か。」今日の学習を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで遊べば楽しいと分かった。 ・ 一緒に遊べると、悲しい思いをする人がいなくなると分かった。 ・ 今まで相手の気持ちを考えずに、仲間に入れなかったことがあったけど、これからは、みんな楽しく遊びたいです。 ・ これから、友達を誘ったり、助けたりして仲よくしていきたいです。 	<p>発問</p>	<p>机間指導</p>	<p>○ 「①今日新しく分かったこと、考えたこと②今の自分について振り返り、これから生かしたいこと」という視点で振り返らせる。</p> <p>☆ 友達の気持ちを考えて、仲よく助け合うことの大切さに気付いている。</p>